

学校 教育 目標	一本にまっすぐつながる一本松				
	「いっ」・・・いっばいかかわる子ども 「ぼん」・・・ほんきでがんばる子ども 「ま」・・・まちを愛する子ども 「つ」・・・つみかさねながら学ぶ子ども				
学校 概要	創立 108 周年	学校長	小原 健人	副校長	高木 圭子
	2 学期制	一般学級: 11	個別支援学級: 2	児童生徒数: 299 人	
		主な関係校: 老松中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
< 自分づくりと他者を理解する力 > ・自分の良さをしり、自己有用感をもつ ・地域に貢献し、主体的に社会参画する姿勢 ・多面的・総合的に物事をとらえ、論理的に思考する力 ・他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力など	老松中学校 東小学校 戸部小学校	・必要な基礎学力を身につけながら学習への興味関心もち、学び続ける姿勢を身につけた子ども ・基本的生活習慣を身につけ、他者への思いやりや礼儀をもった子ども ・読書の時間やスキルタイムの設定 ・ブロック内授業研究会・研究協議会等を通じた、学習指導やカリキュラム・マネジメントの情報交換 ・あいさつ運動の実施

中期 取組 目標	一人ひとりを大切にしながら、地域と共に、地域に生きる子どもたちを育てていきます。
	○明確にした資質・能力をすべての教育活動で育成するために ・「いつ」「何を」「どのように」学ぶカリキュラムデザインをしていく ・資質・能力獲得の評価規準・評価方法を検証する ・PDCAサイクルに基づいた資質・能力の検討を行っていく ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指し、授業改善を行っていく ○オリンピック・パラリンピック教育を通して、生涯にわたる豊かなスポーツライフに向けた基本を養えるようにする ○温かい地域の教育力を感じながら、共に生きる社会の一員としての自覚をもちながら、「まち」に生き、「まち」を誇れる心を育てていく

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	・全ての学習活動において自分の考えを分かりやすく述べたり、友達の意見に耳を傾けたりしながら学び合う場を設定する。
担当 学力向上	・4年生以上対象の自主学習を通して、自らテーマを設定し意欲的に学習に取り組む姿勢や、物事を多面的・分析的にとらえる力を養う。
豊かな心	・体験的学習、異学年交流の活動を充実させ、自己の生活や行動の振り返りや価値付けを深めるようにする。
担当 道徳推進教育	・道徳科授業の充実を図る。道徳推進担当、道徳研担当を中心に、授業の充実を図るための情報共有を行うようにする。
健やかな体	・学校保健委員会を中心に心や体の健康についての取組を行う。
担当 体力向上	・生涯体育に向けて進んで運動することの楽しさや喜びを実感できるように外部との連携、休み時間の活用、オリンピック・パラリンピック教育などを行う。全校で運動に取り組む機会や時間を確保できるようにしていく
公共心と社会参画	・学校の友達や「まち」の人々など、身近な他者と関わり合う場を意図的に設定し、自分の思いや願いを伝えたいという意欲を高める。
担当 教務部	・どの教育活動においても、自分の言葉で相手に伝える場を設定し、経験を重ねることができるようになる。
地域連携	・地域・保護者との連携を図った一本まつりや各学年の教育活動を充実させ、達成感や成就感を味わえるようにする。
担当 教務部	・「安全の集い」「感謝の会」等の機会を通して、地域の方に支援していただいていることの意識を高める。
児童生徒指導	・最低月1回の全職員で、児童の情報共有を行う。
担当 児童指導	・YPアンケートの活用や、横浜プログラムの浸透を図るような研修を行う。 ・学校全体の組織を整備する。
特別支援教育	・個のニーズに応じた支援を行うことができるよう、全校的・組織的な指導体制を構築する。
担当 特別支援	・個別支援学級と一般学級の児童が明確なねらいのもとに交流や共同学習に取り組むことができるよう、拡大学年研等、研究の時間を設定する。
a15	a23
担当	
いじめへの対応	・いじめ防止対策委員会の運営の方法を考え、情報交換を密に行う。
担当 児童指導	・教師が迅速に、適切に対応ができるように実践的な研修を行う。 ・児童がいつでもSOSを出せるようなに教職員一人ひとりが受容できる環境づくりに努める。
人材育成・組織運営(働き方改革)	・中堅職員(ミドルリーダー)がリーダーシップを発揮し、経験の浅い教職員を育てていくことができるよう、教務部を中心とした校内組織を構築する。
担当 教務部	・グループウェアを活用した情報共有を促進することにより、打ち合わせや会議の効率化を図る。